

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室			室長：伯野 春彦		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	各都道府県が策定する地域医療再生計画については、平成21年度補正予算～平成24年度補正予算により交付した地域医療再生臨時特例交付金を活用して実施しているところであるが、計画案の策定から進捗・成果の把握まで、有識者による会議から意見を聴取・反映することで、計画をより実効性のあるものとする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	「地域医療再生計画に係る有識者会議」について、諸謝金、委員等旅費及び会場借料等にかかる経費の支払いを行う。有識者会議については、厚労省内において、有識者及び47都道府県の担当職員を集めた会議を行うほか、各ブロック(北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州)の担当者と(有識者2～3名＋職員3～4名)に現地視察を兼ねたブロック会議を開催し、各都道府県の医療関係者からのヒアリングを行い、計画の書面だけでは把握しきれない現状を把握する。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	8.9	9	8	6	6			
	執行額		8.4	0	2					
	執行率（％）		94%	0%	25%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	平成28年度以降は、都道府県が策定した地域医療再生計画の事業について、一定の成果評価を行うことが本経費の主目標となる。		計画事業に対する評価実施完了の割合	成果実績	都道府県	-	-	-	-	-
				目標値	都道府県	-	-	-	-	47
				達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	開催回数及び現地調査回数		活動実績	回	8	0	1	-		
			当初見込み	回	20	20	19	13		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	実績額／開催回数及び現地調査回数		単位当たり コスト	円	1,112,500	-	1,700,000	452,000		
			計算式	実績額／開催回数	8,400,000/8	-	1,700,000/1	5,876,000/13		
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		1	1						
	職員旅費		1	1						
	委員等旅費		1	1						
	庁費		3	3						
計		6	6							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係

政策評価

政策

地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること

施策

日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標Ⅰ－１－１)

測定指標

定量的指標

単位

25年度

26年度

27年度

中間目標
－年度

目標年度
28年度

地域医療再生計画事業に対する評価件数

実績値

都道府県

－

－

－

－

－

目標値

都道府県

－

－

－

－

47

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

各都道府県が実施した再生計画について、内容の評価することにより、地域において必要な医療を提供できる体制整備をより一層促進できる。

経済・財政再生アクション・プログラム

改革項目

分野

－

－

(第一階層)
KPI

KPI
(第一階層)

単位

計画開始時
－年度

27年度

28年度

中間目標
－年度

目標最終年度
－年度

成果実績

－

－

－

－

－

－

目標値

－

－

－

－

－

－

達成度

％

－

－

－

－

－

(第二階層)
KPI

KPI
(第二階層)

単位

計画開始時
－年度

27年度

28年度

中間目標
－年度

目標最終年度
－年度

成果実績

－

－

－

－

－

－

目標値

－

－

－

－

－

－

達成度

％

－

－

－

－

－

本事業の成果と改革項目・KPIとの関係

－

事業所管部局による点検・改善

項目

評価

評価に関する説明

国費投入の必要性

事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。

○

地域医療再生計画をより実効性のあるものとするため、国費を投入して実施すべき事項である。

地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。

○

都道府県が計画を策定・実施することから、国において有識者による第三者の評価が必要である。

政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。

○

地域医療再生計画をより実効性のあるものとするため、重要な役割を果たしており、優先度が高い。

事業の効率性

競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。

－

－

一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。

無

－

競争性のない随意契約となったものはないか。

無

－

受益者との負担関係は妥当であるか。

－

－

単位当たりコスト等の水準は妥当か。

○

必要な経費に限られているため、単位当たりコストの水準は妥当である。

資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。

－

－

費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。

○

本会議の開催に必要な経費のみに限定している。

不利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)

○

平成25年度までは計画に対する助言を行い、改善に資することを主な役割としていたが、平成26年度以降は計画変更できないこととしたため、平成27年度には会議を開催していない。

その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。

○

必要最小限の回数で積算している。

事業の有効性

成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。

－

－

事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。

○

本会議の開催に必要な経費のみに限定している。

活動実績は見込みに見合ったものであるか。

－

－

整備された施設や成果物は十分に活用されているか。

－

－

関連事業

関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)

－

－

所管府省・部局名

事業番号

事業名

－

－

－

点検・改善結果

点検結果

当該事業は、地域医療再生計画をより実効性のあるものとするため、重要な役割を果たしている。地域医療再生計画事業は、地域の医療課題を解決するために各都道府県が計画的に行う医療提供体制の基盤整備に対する重要な支援事業であり、平成25年度末までの計画期間となっている。現在は平成25年度末までに開始した事業について延長して実施しており、計画変更はできないこととしたため、平成26年度には会議を開催していないが、平成27年度末までに事業の大半が終了することから、平成28年度において、有識者会議による一定の成果評価等を行うことを検討している。

改善の方向性

ブロック開催の会場については可能な限り都道府県庁内の施設を借用するなど、これまで節減に努めており、引き続き適切に執行していく。

外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
事業内容の一部改善	アウトプットが0Iにも関わらず、執行率が21%となっていることから、より適切なアウトプットを設定するなど、レビューシートの記載方法について改善が必要と思われる。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
執行等改善	所見を踏まえてアウトプット指標について修正を行いました。						
備考							
-							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	新25-003	平成26年度	30	平成27年度	25		

